

「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会発言要旨  
－活力部会－

開催日：平成23年8月18日（木） 10：00～12：00

場 所：大分センチュリーホテル2F 桜

出席委員： 矢野委員 石井委員 甲斐委員 壁村委員  
桑野委員 荷宮委員 橋本委員 藤澤委員  
米澤委員 和田委員

- 「緑の雇用」により様々な資格を取得している人がいるが、そのような資格取得者数を目標指標としてはどうか。
- 山形県では、地区ごとに間伐を進めているが、本県でも導入してほしい。
- 現行指標の「集落営農組織数」の削除は、目標指標を達成したためと思うが、当該目標値で十分との考えなのか。
- 間伐材を新エネルギーとして活用できないか。
- エコエネルギーに関する研究への支援や研究所の誘致などを進めてはどうか。
- 今後は潮力発電も有力であり、本県でも早急に取り組んではどうか。
- アンテナショップの運営は非常に厳しく、九州で一体となって運営してはどうか。
- 空き店舗への助成や地域資源活性化基金助成事業は、市報などでもっと広報してほしい。
- 大都市圏における観光と物産展をもっと積極的に実施してはどうか。
- 宇佐神宮解体も観光資源となっており、文化や文化財をツーリズムに活用することを進めてはどうか。
- 指標「おおいたツーリズム大学修了生数」を新設しているが、毎年募集して修了すれば、達成できる目標ではないかと思われ、指標の設定として適当か。